A

基本操作／共通

A-2 各部の名称とはたらき

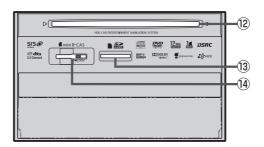
パネル部CLOSE状態

HM512D-A

HM512D-W

パネル部OPEN状態

HM512D-A
HM512D-W

※パネルOPEN状態のイラストはHM512D-Aを例に記載しています。HM512D--Wは横幅が長くなります。

① ▲ ボタン(OPEN)

- パネルをオープンさせて、ディスクやSDカード／miniB-CASカードを出し入れするときに使用します。
  - ・ディスク A-6
  - ・SDカード A-7
  - ・miniB-CASカード A-8
- 長押しすると自動でディスクが押し出されます。

② ボタン(電話)

ハンズフリー MENU画面を表示します。
M-2、I-3

③ ⏮ ⏭ ボタン／ ⏮ ⏭ ボタン

- 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。
  - ・CD／MP3／WMA／SD／USB／WALKMAN®／iPod／MUSIC STOCKER／AV STOCKER／*Bluetooth* Audio A-11
  - ・Radio D-4
  - ・TV K-16
  - ・DVD J-7
- 長押しすると早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
  - ・CD／DVD／MP3／WMA／SD／USB／WALKMAN®／iPod／MUSIC STOCKER／AV STOCKER／*Bluetooth* Audio A-12
  - ・Radio D-4
  - ・TV K-16
- 一時停止中にコマ戻し／コマ送り／スロー戻し／スロー送りを行ないます。
  - ・DVD J-8

④ AV ボタン

AV SOURCE画面を表示します。 A-10
※ナビゲーション画面／オーディオ画面から他のオーディオ画面を表示させる(ソースの切り替えをする)ときに使用します。

⑤ メニュー ボタン

- MENU画面を表示します。
- 長押しすると画面調整画面または画質調整画面が表示されます。 A-25
- DVDソースの場合、押すたびに
  操作ボタン有 → MENU画面 → 操作ボタン無 → (操作ボタン有)
  を繰り返します。

⑥ 現在地 ボタン

ナビゲーション画面を表示します。
A-18、M-32

⑦ − 音量 ＋ ボタン／ 音量 ツマミ

オーディオの音量を調整します。 A-17
ハンズフリー時の音量も調整できます。

⑧ ⏻ ボタン／ PUSH AV OFF ボタン

- AV電源をON／OFFするときに使用します。
  A-9
- 2秒以上長押しで画面を消します。 A-19

⑨ ★ ボタン(オプション)

別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)H-2

⑩ リモコン受光部

別売のリモコンを使用してDVDの操作などをすることができます。
別売のリモコン
別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)I-52

⑪ AUX端子☆

市販のポータブルオーディオ機器を接続します。 L-3

⑫ ディスク挿入口 A-6

⑬ SDカード挿入口 A-7

⑭ miniB-CASカード挿入口

テレビを視聴する場合はminiB-CASカードを挿入します。 A-8

アドバイス

- 画面に表示されるタッチパネル部のボタンはそれぞれを参照ください。
  - ・CD／MP3／WMA C-2　・MUSIC STOCKER H-2　・Radio D-2
  - ・SD／AV STOCKER E-2　・USB／WALKMAN® F-2　・iPod G-2
  - ・*Bluetooth* Audio I-10　・DVD J-2　・TV K-4　・VTR／AUX☆ L-2
- 車両にステアリングスイッチが装着されている場合は、ステアリングスイッチで本機のAV機能を操作することができます。 「ステアリングスイッチについて」N-12

☆印…HM512D-W

基本操作

（例）

タッチパネル部

パネル部

タッチパネル部

本書では、
タッチパネル部のボタンは“ ボタン をタッチ”、
パネル部のボタンは“ ボタン を押す”と記載しています。

※本書のマークについて

アドバイス … 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。

……………………… 画面上でタッチパネル操作を表します。

■／□…………… 操作手順が次のステップでわかれるときの案内をします。

：……………………… 操作上で操作を行なった結果を説明します。

● パネル部の詳細は☞ A-2を参照ください。

● ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。

● オーディオ画面とはCD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／WALKMAN®／iPod／TV／MUSIC STOCKER／AV STOCKER／*Bluetooth* Audio／VTR／AUX☆時を示します。
※iPodビデオと記載している場合は映像データを表します。

☆印…HM512D-W

各ソースを選択する

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、A-5手順 **2** へ進んでください。

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたソースの画面になります。

※利用開始日登録画面が表示された場合は、登録操作を行なってください。
☞ 日産オリジナルナビゲーション（詳細版）A-20

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の☞ 日産オリジナルナビゲーション（詳細版）B-4を参照してください。

起動初期画面

CDソース画面（例）

CDソース選択中

⚠注意 「ACC」（エンジンを停止したまま）で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 [AV]を押す。

：AV SOURCE画面または前回最後に選択していたソース画面(OFF含む)が表示されます。前回のソース画面から他のソースに変えたい場合はもう一度[AV]を押してAV SOURCE画面を表示させてください。

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は挿入または接続してください。
☞ A-6、L-3

アドバイス

[✱](オプション)にAVソース選択を設定している場合は、このボタンを押してAV SOURCE画面を表示させることができます。
☞ 別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)H-2

3 操作したいソース(CD／DVD／Radio／SD／USB／WALKMAN®／iPod／TV／MUSIC STOCKER／AV STOCKER／Bluetooth Audio／VTR★／VTR／AUX☆)をタッチする。

★印…HM512D-A　☆印…HM512D-W

：選択したそれぞれのソース画面が表示されます。

※ご希望の操作を行なってください。☞ 1ページ

AV SOURCE画面(下記)に表示されるソースボタン(各機能)は型式によって異なります。また、各ボタンの詳細は☞ A-10を参照ください。

AV SOURCE画面

HM512D-A

HM512D-W

■ 操作したいソース画面が表示された場合

①☞ 1ページに記載の項目をご覧いただき、ご希望の操作を行なってください。

※音楽再生をしていた場合は前回の続きから再生を始めます。

映像の表示について

DVDソース画面(走行中)(例)

> ⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※映像を表示するソースはDVD／TV／VTR／iPodビデオおよびSD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイルとなります。(SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの画像ファイルも走行中は表示されません。)

※別売の後席専用モニターを接続している場合、走行中でも映像をご覧いただけます。

ディスクを入れる／取り出す

1 ▲(OPEN)を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

---

2 ディスクを入れる／取り出す。

■ ディスクを入れる場合

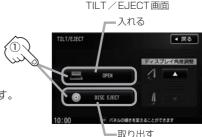
① **OPEN** をタッチする。

：ディスプレイが開きます。

② ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、再生を始めます。

※未録音の音楽CDを挿入した場合は録音を開始します。☞ C-4

TILT／EJECT画面

■ ディスクを取り出す場合

① **DISC EJECT** をタッチする。

：ディスプレイが開き、ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

※ディスプレイを閉じる場合は、▲(OPEN)を押してください。

アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の初めから再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(続きから再生)を行ないます。
- 再生中に車のキースイッチをACC「OFF」にした場合は、次にACCを「ON」にすると、前に再生していた続きから再生を始めます。
- TILT/EJECT画面で **DISC EJECT** をタッチして押し出されたディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。
- ディスクを取り出すとき、▲(OPEN)を長押しすると、**DISC EJECT** をタッチすることなく自動でディスクが押し出されます。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のキースイッチを「OFF」にした場合は、自動的にディスプレイ部が閉じます。ディスクやSDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。

SDカードを入れる／取り出す

1 ▲(OPEN)を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

2 OPEN をタッチする。

：ディスプレイが開きます。

3 SDカードを入れる／取り出す。

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じます。

※SDソースを選択している場合は再生を始めます。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

※ディスプレイを閉じる場合は、▲(OPEN)を押してください。

アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の初めから再生する場合があります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDソースを終了(AV電源をOFF)して取り出してください。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のキースイッチを「OFF」にした場合は、自動的にディスプレイ部が閉じます。ディスクやSDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。

miniB-CASカードを入れる／取り出す

⚠注意

- 本機には、ID(識別)番号の異なるminiB-CAS(ビーキャス)カードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CASカードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部に触れたり、汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりすると使用できなくなることがありますので、大切に取り扱ってください。

「miniB-CASカードについて」K-52

1 「SDカードを入れる／取り出す」A-7手順 **1** 、**2** に従って操作する。

2 カードを入れる／取り出す。

※miniB-CASカードを出し入れするときは付属の「落下防止シート」を使用してください。

■ miniB-CASカードを入れる場合

① miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカードを挿入する。

※★の付いた面を上にし、⬆(矢印イラスト)の方向に奥まで挿入してください。

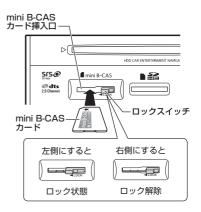
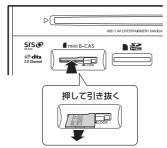
② ロックスイッチを左側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。

：miniB-CASカードがロックされます。

■ miniB-CASカードを取り出す場合

① ロックスイッチを右側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。(上図吹き出し参照)

※ロック解除されます。

② miniB-CASカードを1回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。

3 ⏏(OPEN)を押す。

：ディスプレイが閉じます。

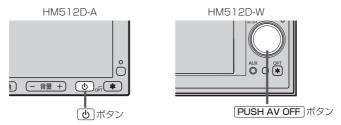
⚠注意

- miniB-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口(☞ A–8)にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ロック状態(ロックスイッチ左側状態)でminiB-CASカードを取り出そうとすると、ロックスイッチが壊れる原因となります。必ずロックスイッチを右側へスライドさせてからminiB-CASカードを取り出してください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASテストを行なってください。
  ☞「miniB-CASカードのテストをする」K–40

オーディオをOFFする

1 ⏻ ／ PUSH AV OFF を押す。

：画面に“OFF”と表示されオーディオの各ソースを終了します。
もう一度押すと、AV電源をONします。

※前回、音楽またはDVDを再生していた場合は続きから再生を始めます。
（*Bluetooth* Audioソースの場合は ▶ をタッチすると再生を始めます。☞ I–12）

アドバイス

- 録音中の場合、CDソースを終了しても(再生を止めても)録音は継続されます。
- *Bluetooth* Audioソースの場合、*Bluetooth* Audio対応機器や携帯電話の仕様によっては、AV OFF／車のキースイッチをOFFにしても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、手動で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

設定の保持について

決定 のある画面では、 決定 をタッチすると設定が保持されます。
決定 をタッチしないで 戻る をタッチまたは メニュー ／ 現在地 を押すと設定は保持されません。
※ 決定 のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。
（例：映像／オーディオ調整など）

ページのスクロールについて

次ページがある場合、 ⏶ ／ ⏷ タッチでページのスクロール(戻し／送り)表示することができます。
画面によっては、指で画面をはらうように操作しても、ページをスクロールすることができます。
☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)「ページの戻し／送りについて」B-15

AV SOURCE画面のソースボタンについて

AV SOURCE画面

HM512D-A

HM512D-W

選択可能ソースはイラスト
および文字を表示

選択不可能ソースはイラスト
および文字が灰色表示

※SDカード未挿入／USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)未接続／*Bluetooth* Audio未登録の場合、それぞれのソースでメッセージが表示されます。

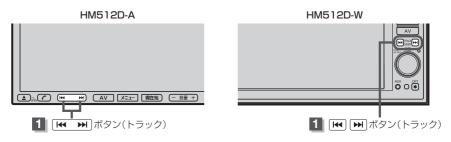
アドバイス

- SDソースを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。
- USB／WALKMAN®ソースを使用するには、USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)を本機から出ているUSB接続ケーブルに接続しておく必要があります。☞F–17
  ※iPod接続時はUSB機器使用不可となります。
- iPodソースを使用するには本機から出ているUSB接続ケーブルとiPod用接続ケーブルにiPodを接続しておく必要があります。☞G–17
  ※USB機器接続時はiPod使用不可となります。
- MUSIC STOCKERソースを使用するにはあらかじめCDを本機に録音しておく必要があります。☞B–5
- AV STOCKERソースを使用するにはSDカード／USB機器内のデータを本機に転送しておく必要があります。☞B–14
- *Bluetooth* Audioソースを使用するには*Bluetooth*対応機器を初期登録しておく必要があります。☞I–2

パネル部のボタンで選曲する

操作パネル上のボタンを押して1曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1 ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ (トラック*)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の初めに戻ります。CD／MP3／WMAのとき、トラック再生開始2秒以内に押した場合は、前のトラックの初めに戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭ を押す。

アドバイス

- 画面をタッチして各ソースのトラックリストより選択することもできます。
  - ・CD／MP3／WMA ☞ C–5
  - ・SD／AV STOCKER ☞ E–6
  - ・USB／WALKMAN® ☞ USB･･･F–6／ウォークマン®･･･F–8
  - ・iPod ☞ G–4
  - ・MUSIC STOCKER ☞ H–4
  - ・*Bluetooth* Audio ☞ I–13
- 音楽CD録音(REC)中トラックを戻す／進めることは操作できません。
- ＊印…Radio／TVソースでは選局、DVDソースではスキップと呼び名を変えています。
  - ・Radio ☞ D–4
  - ・TV ☞ K–16
  - ・DVD ☞ J–7
- *Bluetooth* Audioソースのとき、*Bluetooth* Audio対応機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や、操作できない場合があります。

早戻し／早送りをする

1 ⏮ ⏭／⏮ ⏭（トラック／スキップ）を1.5秒押す。

：早戻し／早送りをします。

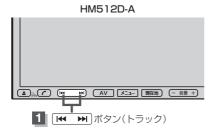
※DVDソースの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。

※それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

HM512D-A

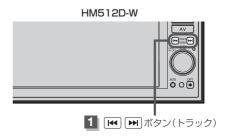
1 ⏮ ⏭ ボタン（トラック）

HM512D-W

1 ⏮ ⏭ ボタン（トラック）

■ 早戻しで戻る場合

⏮ を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ を押し続ける。

再生状態表示
▶ ：通常再生
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し

音楽再生の場合（例）

アドバイス

- 音楽CD録音（REC）中の早戻し／早送りはできません。
- *Bluetooth* Audioソースのとき、*Bluetooth* Audio機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や、操作できない場合があります。また、早戻し／早送り中に再生時間表示が変化しない、正しい時間を表示しない場合があります。早戻し／早送りをすばやく解除すると、機器によっては早戻し／早送りが解除されない場合があります。（その場合は ▶（再生）／ ⏸（一時停止）をタッチして解除して下さい。）
- Radio／TVソースのときに押し続けると自動選局を開始します。
  ・Radio ☞ D-4
  ・TV ☞ K-16

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1 再生モード をタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

＊印…手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

CDソース TOP画面(例)　＊

2 再生したいモード(リピート ／ ランダム ／ スキャン ／ シャッフル)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート をタッチする。

：表示灯が点灯し、リピート再生されます。

※ リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

CD／SD／USB／WALKMAN®／iPod／MUSIC STOCKER／AV STOCKER／*Bluetooth* Audio＊の場合

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

＊印…AVRCP Version1.4対応でリピート再生可能な*Bluetooth* Audio機器を接続している場合(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

MP3／WMAの場合

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

今聞いているフォルダのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム をタッチする。**

：表示灯が点灯し、ランダム再生されます。

※ ランダム をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

CDの場合

ディスク内の曲をランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

SD／USB／WALKMAN®／MUSIC STOCKER／AV STOCKER／*Bluetooth* Audio*の場合

今聞いているリストの中からランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

*印…AVRCP Version1.4対応でランダム再生可能な*Bluetooth* Audio機器を接続している場合(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① スキャン をタッチする。

：表示灯が点灯し、曲の初め(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ スキャン をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

CD／MP3／WMAの場合

ディスク内の曲をスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

SD／USB／WALKMAN®／MUSIC STOCKER／AV STOCKERの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※iPodソースのみ

① シャッフル をタッチする。

：表示灯が点灯し、シャッフル再生されます。

※ シャッフル をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

今聞いているリストの中からシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき マーク表示有)

⬇

通常再生(シャッフル解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

3 設定を終えるには、 閉じる をタッチする。

：選択中ソースのTOP画面に戻ります。

アドバイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示中はそれぞれのモード再生を繰り返します。
- CDソースでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと設定は解除されます。
- MUSIC STOCKERソースの選曲モード(☞ H-7)がミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。

MUSIC STOCKER

ミュージックエスコート選択時

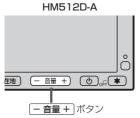
リピート再生のみとなります。

音量を調整する

1 **［－ 音量 ＋］を押す／［音量］をまわす。**

：画面に現在の音の大きさ（0～31）を示す音量表示が表示されます。
　音量表示は約２秒間表示されます。

※押しつづけて／回しつづけて調整することもできます。

HM512D-A

［－ 音量 ＋］ボタン
＋側を押すと音量を上げます。
（大きくなります。）
－側を押すと音量を下げます。
（小さくなります。）

HM512D-W

［音量］ツマミ
右（時計）回りに回すと音量を上げます。
（大きくなります。）
左（反時計）回りに回すと音量を下げます。
（小さくなります。）

SDソース（例）

音量表示

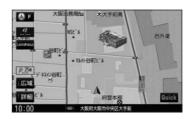
アドバイス

- 音量は各ソースで個別に設定できます。
  ※Radioソースの場合は、FM／AMどちらかで設定した大きさとなります。
- ［✱］（オプション）に消音機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
  別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）「オプションボタンの設定をする」H–2

A-18 音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

今のソースの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各ソースの画面で、 現在地 を押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

■ 今聞いているソースの画面に戻す場合

① AV を押す。

：今聞いているソースの画面に戻り、操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、 現在地 を押してください。

 アドバイス

音量調整や ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのままで、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 ⏻／PUSH AV OFF を２秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

■ 再度、画面を表示する場合

① 画面をタッチする。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。

※ ⏻／PUSH AV OFF を押しても画面を表示させることができます。

動作モード(音楽／画像／動画)を切り替える

SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERソースのとき、再生させたいファイル(音楽／画像／動画)に切り替えます。

1 モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

※映像データを再生中の場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させてください。

SDソース画面(例)

アドバイス

☆印･･･手順 2 で選択したファイルの種類(動作モード)が表示されます。

- 音楽ファイル･･･
- 画像ファイル･･･
- 動画ファイル･･･

2 再生させたいファイルの種類(音楽ファイル ／ 画像ファイル ／ 動画ファイル)をタッチする。

モード切替画面

■ 音楽ファイル をタッチした場合

：MP3／WMA／AACなどの音楽ファイルを再生します。

☞SD･･･E–2
☞USB／WALKMAN®･･･F–2
☞AV STOCKER･･･E–2

■ 画像ファイル をタッチした場合

：写真などのJPEG画像を表示します。

☞SD･･･E–4
☞USB／WALKMAN®･･･F–4
☞AV STOCKER･･･E–4

■ 動画ファイル をタッチした場合

：MPEG4ファイルの映像を表示します。

☞SD･･･E–5
☞USB／WALKMAN®･･･F–5
☞AV STOCKER･･･E–5

画像ファイルを表示する

SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERソースのとき、画像を本機に表示することができます。
画像は回転させたり、スライドショー表示することができます。

※SD／USB／WALKMAN®ソースの場合、JPEG画像の入ったSD／USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)を本機に挿入／接続しておく必要があります。AV STOCKERソースの場合、JPEG画像をSD／USB機器(USBフラッシュメモリ)から本機へ転送しておく必要があります。
☞SD挿入･･･A-7／☞USB機器を接続･･･F-17／☞AV STOCKERに転送･･･B-14

---

1 **☞A-20手順 1 に従って操作し、手順 2 のとき 画像ファイル をタッチする。**

：操作ボタンと共に画像が表示されます。

※すでに画像が表示されている場合は上記操作の必要はありません。

---

2 **操作したい項目(スライドショー ／ 回転 ／ リスト)をタッチする。**

- スライドショー ･････････☞「スライドショーを表示する」下記
- 回転 ･････☞「画像を回転する」A-22
- リスト ･･･☞「リストより画像を選択する」A-22

SDソース(画像ファイル)の場合
☞「各部の名称とはたらき」E-4

フォルダ内に複数のファイルがある場合、前へ ／ 次へ タッチで1つ前／後ろのファイルを表示させることができます。

スライドショーを表示する

① 画面をタッチし、操作ボタンを表示させる。

② 開始 をタッチする。

：選択しているフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。

スライドショーの再生間隔を変更することができます。

1. 再生間隔 をタッチする。
2. お好みの間隔(3秒 ／ 10秒 ／ 30秒 ／ 1分)をタッチする。

：画像が表示され、選択した間隔でスライドショーを行ないます。

■ **スライドショーを止める場合**

①画面をタッチし操作ボタンを表示させ、終了 をタッチする。

画像を回転する

① 回転 をタッチする。

：タッチするたびに表示中の画像が
90度ずつ右回転（時計まわり）します。

リストより画像を選択する

① リストより表示させたいフォルダをタッチする。

：ファイルがサムネイル表示されます。

② 表示させたいファイルをタッチする。

：選択したファイル（画像）が表示されます。

アドバイス

画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。

アドバイス

- 画像表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。
- 画像ファイルの制限は☞「画像ファイル（JPEG）について」N–3を参照ください。

動画ファイルを再生する

SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERソースのとき、動画再生をすることができます。

※SD／USB／WALKMAN®ソースの場合、動画ファイルの入ったSD／USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)を本機に挿入／接続しておく必要があります。
AV STOCKERソースの場合、動画ファイルをSD／USB機器(USBフラッシュメモリ)から本機へ転送しておく必要があります。
☞SDを挿入…A-7／☞USB機器を接続…F-17／☞AV STOCKERに転送…B-14

1

☞A-20手順 1 に従って操作し、手順 2 のとき 動画ファイル をタッチする。

：映像が再生されます。

※すでに映像が表示されている場合は上記操作の必要はありません。

2

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、操作したい項目(▶II ／ 再生リスト)をタッチする。

- ▶II ……☞「(再生を一時停止する)」下記
- 再生リスト…☞「(リストより動画を選択する)」A-24

SDソース(動画ファイル)の場合
☞「各部の名称とはたらき」E-5

再生を一時停止する

① ▶II (再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めます。

■ **再び再生を始める場合**

① ▶II (再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。

※本機は再生を止めた位置をメモリーします。

リストより動画を選択する

① リスト変更 をタッチする。

：リスト選択画面が表示されます。

■ 全ファイルから選択する場合

1. 全ファイル をタッチする。

：ファイルリストが表示されます。

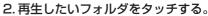
2. 再生したいファイルをタッチする。

：選択したファイル(動画)が再生されます。

■ 任意のフォルダからファイルを選択する場合

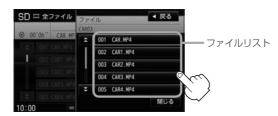
1. フォルダ をタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

2. 再生したいフォルダをタッチする。

：ファイルリストが表示されます。

フォルダリスト

3. 再生したいファイルをタッチする。

：選択したファイル(動画)が再生されます。

アドバイス

- 動画(映像)表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。
- 動画ファイルの制限は 「動画ファイル(MPEG4)について」N–4を参照ください。
- 選択したファイル(動画)は繰り返し再生されます。

映像の調整のしかた

明るさ／色の濃さ／コントラスト／色合いの調整やディスプレイ選択をすることができます。
※選択しているソースによって設定できる項目が異なります。
走行中は調整できる項目が限られます。

アドバイス

- ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、TVソースの場合はフル固定となります。
- VTRソース画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、音楽再生のソース(および音楽ファイル*)／画像ファイル*の場合、映像を表示するソース／動画ファイル*の場合で別々に調整することができます。
  ＊印・・・SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERソースのとき動作モード(ファイル)を選択することができます。

1 メニュー を2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※映像を表示するソースの場合は下記手順 2 へ、音楽再生の場合は下記手順 3 へ進んでください。(TVソースの場合は下記手順 3 へ進んでください。)

2 画質調整 をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面(例)

DVD／iPodビデオ／VTR画面およびSD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイル再生画面の場合に表示されます。
「■ ディスプレイ選択の場合」A-27

3 調整したい項目(明るさ ／ コントラスト ／ 色の濃さ ／ 色合い)をタッチする。

アドバイス

音楽再生の場合、 明るさ ／ コントラスト の調整となります。

画質調整画面(例)
映像を表示するソースの場合

画面の明るさを切り替えることができます。

4 ◀／▶をタッチして値を調整する。

画質調整画面（例）

アドバイス

調整はタッチパネルの◀または▶をタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ（1～31）調整の場合

◀をタッチすると暗くなり、▶をタッチすると明るくなる。

アドバイス

車のライトをつけているとき（ON時）とライトを消しているとき（OFF時）とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト（1～31）調整の場合

◀をタッチすると黒さが増し、▶をタッチすると白さが増す。

■ 色の濃さ（1～31）調整の場合

◀をタッチすると淡くなり、▶をタッチすると濃くなる。

■ 色合い（1～31）調整の場合

◀をタッチすると赤が強くなり、▶をタッチすると青が強くなる。

アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合　(DVD／iPodビデオ／VTR画面およびSD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイル再生画面の場合)

手順 **1** (☞ A-25)で画面調整画面を表示する。
ノーマル／フル／ワイド／シネマの４つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

画面調整画面(例)

ノーマル	：４：３の映像の画面
フ　ル	：４：３の映像を左右に引き伸ばし、16：９にした画面
ワイド	："フル" の違和感を少なくした画面
シネマ	：４：３の映像をそのまま拡大した画面

アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRソースで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- TVソースの場合はフル固定となります。

5 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

画質調整を初期値に戻す

手順 **3** 、**4** (☞ A-25)で調整した画質(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1 画質調整画面で 初期値 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面(例)

A-28 フェード・バランスの調整をする

前後左右のスピーカーの音量バランスや低音、高音の調整を調整することができます。

FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整　／　BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整

BASS（バス）：低音域の調整　／　TREBLE（トレブル）：高音域の調整

※AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1

メニュー を押す。

：MENU画面が表示されます。

※DVDソース時は メニュー を2回押します。

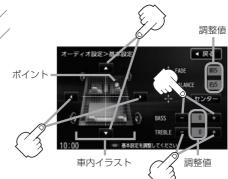
2

設定 ➡ オーディオ設定 ➡ 基本設定 をタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。

3

調整したい項目（FADE（フェード）／BALANCE（バランス）／BASS（バス）／TREBLE（トレブル））の ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ または − ／ ＋ をタッチする。

※FADE（フェード）とBALANCE（バランス）の場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント（値）を移動させて調整することもできます。

■ FADE（前９～後９）調整の場合

▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

■ BALANCE（左９～右９）調整の場合

◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

■ BASS（−５～＋５）調整の場合

− をタッチすると低音が弱まり、 ＋ をタッチすると低音が強まる。

■ TREBLE（−５～＋５）調整の場合

− をタッチすると高音が弱まり、 ＋ をタッチすると高音が強まる。

設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

フェード・バランス設定画面(例)

- センター をタッチするとFADE／BALANCEの値が0になり、ポイントが中心線上に戻ります。

- 調整時に ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ ／ − ／ ＋ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。
- BASSの値を調整するとイコライザーのBand1(63 Hz)の値が、TREBLEの値を調整するとBand7(12.5 kHz)の値がそれぞれ変化します。
  「イコライザー(音質)の設定をする」A-30

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。
※AV電源OFFの場合、イコライザーの設定をすることはできません。

1 メニュー を押す。

：MENU画面が表示されます。

※DVDソース時は メニュー ボタンを2回押します。

2 設定 ➡ オーディオ設定 ➡ イコライザー をタッチする。

：イコライザー画面が表示されます。

3 お好みの音質の選択または値を設定する。

■ お好みの音質を選択する場合

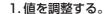
① 設定したい音質(POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。
※さらにお好きな値に調整することもできます。
☞ A-31

イコライザー画面

アドバイス

POP ／ ROCK ／ JAZZ の値は本機に既存の値が設定されています。 USER のイコライザーの値はOFF状態(±0)に設定されています。
※お好きな値に調整することもできます。☞ A-31

□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と ▲／▼ をタッチして調整する方法の２種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン

オーディオ設定>イコライザー　◀ 戻る
63　152　367　887　2.1k　5.2k　12.5k Hz
初期化　POP　ROCK　JAZZ　USER　OFF
登録
10:00　イコライザーの設定をしてください

イコライザー
※イコライザーの▬の部分が値(レベル)を表します。

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。

アドバイス

- Band1(63 Hz)の値を調整するとBASSの値が、Band7(12.5 kHz)の値を調整するとTREBLEの値がそれぞれ変化します。☞「フェード・バランスの調整をする」A-28
- 走行中、イコライザーの値を調整することはできません。

4　設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

- イコライザー画面で OFF をタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。
- 手順 3 で音質を選択(イコライザーの設定を)するとSRS CS Auto(☞ A-34)は自動的に OFF 選択となります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき EQ マークが表示されます。

オーディオ画面(SDソース画面(例))

マーク表示

各オーディオの音楽再生画面で Sound をタッチするとイコライザー画面を表示させることができます。

イコライザーの値を初期値に戻す

調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1 イコライザー画面で初期化したい音質(POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER)をタッチする。

2 初期化 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

アドバイス

走行中、イコライザーの値を初期値に戻すことはできません。

サラウンドの設定をする

※AV電源OFFの場合、サラウンドの設定をすることはできません。

1 **メニュー を押す。**

：MENU画面が表示されます。

※DVDソース時は メニュー ボタンを2回押します。

※サラウンドはLIVE／HALL／STADIUM／CHURCH／SRS CS Autoの5種類です。

2 **設定 ➡ オーディオ設定 ➡ サラウンド をタッチする。**

：サラウンド設定画面が表示されます。

アドバイス

交通情報受信画面（D-8）の場合、サラウンド（臨場感）は得られません。（ボタンは選択できません。）

3 **お好みのサラウンド（DSP／SRS CS Auto）を選択します。**

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。

LIVE（ライブ）：サラウンドをライブハウスに設定します。

HALL（ホール）：サラウンドをコンサートホールに設定します。

STADIUM（スタジアム）：サラウンドをスタジアムに設定します。

CHURCH（チャーチ）：サラウンドを残響音の多い教会に設定します。

サラウンド設定画面（例）

① **DSP をタッチし、お好みのサラウンド（LIVE／HALL／STADIUM／CHURCH）をタッチする。**

：選択したサラウンド効果で再生されます。

アドバイス

DSPとSRS CS Autoの同時設定はできません。

サラウンドの設定をする

■ SRS CS Autoを使用する場合

センタースピーカーやサブウーファーがなくても
4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

サラウンド設定画面(例)

① SRS CS Auto をタッチする。

：SRSのサラウンド効果で再生されます。

② 各項目(FOCUS ／ TruBass ／ MixToRear)と − ／ ＋ をタッチして音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好みの値に調整する。

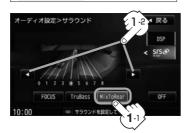
SRS FOCUS(フォーカス)　：耳の高さから音が聞こえるように調整できます。
SRS TruBass(トゥルーバス)　：低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
（サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。）
SRS MixToRear(ミックストゥリア)：フロントの音をリアに振り分けることができます。
（後席でもセリフなどを聞きやすくできます。）

□ FOCUS を選択したとき

フロントまたはリアの音の高さを ＋ ／ − タッチで調整します。(0～8)

□ TruBass を選択したとき

フロントまたはリアの低音のレベルを ＋ ／ − タッチで調整します。(0～8)

□ MixToRear を選択したとき

リアスピーカーへのフロントスピーカーの出力成分割合を ◀ ／ ▶ タッチで調整します。(0～8)

アドバイス

- 2スピーカーではサラウンド効果は得られません。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストはサラウンドを表すためのイメージ図です。

サラウンド設定画面(例)

- サラウンド効果(臨場感)をやめたい場合は OFF をタッチしてください。

設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

SDソース TOP画面(例)

オーディオ画面では手順 3 で選択したサラウンドが表示されます。

- 手順 3 (☞ A-34)でSRS CS Autoを選択するとイコライザーの設定(☞ A-30)は自動的に OFF 選択となります。
- SRS CS Auto はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

A-36 車速連動音量を設定する

車の走行速度によって、オーディオの音量を自動で調整します。

1 **メニュー を押す。**

：MENU画面が表示されます。

※DVDソース時は メニュー を２回押します。

2 **設定 ➡ オーディオ設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。**

：車速連動音量設定画面が表示されます。

3 **設定したい連動音量(HIGH ／ MIDDLE ／ LOW)をタッチする。**

：車速(走行速度)に応じて音量変化は
- HIGH…大きい
- MIDDLE…HIGHとLOWの中間
- LOW…小さい

となります。

連動音量

連動音量を設定しない場合は OFF をタッチしてください。

4 **設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。**

アドバイス

音量変化量
大
なし
HIGH
MIDDLE
LOW
車速（走行速度）
遅 ←→ 速

- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げます。
  ※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
  すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。